



# そのだ南

尼崎市立園田南小学校  
学校便り 第10号  
令和3年1月12日

HPアドレス [www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html](http://www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html)



## 進み続ける一年に

校長 佐藤 喜代子

新年 あけましておめでとうございます。2021年がスタートしました。平凡な新年の挨拶を元気に交わせることがどれほど貴いか改めて思い知る年明けだといえます。コロナ禍は、私たちに不安や心配と同時に、生活様式や働き方、そして学び方の見直しを求め、今の日本のさまざまな問題点を気づかせてくれました。ますます進む技術革新と相まって、これからの社会は間違いなく大きく変わろうとしています。こんなときだからこそ、ピンチをチャンスととらえ、苦難を乗り越えて、温かく、健康で活力ある社会を築きなおす好機としなければなりません。今年はその出発点ともいえる年です。進み続ける一年となるよう、共に支え合って頑張りましょう。

今年が丑年です。「丑」は中国で生まれた漢字で、本来の意味は「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しているそうです。これを後に覚えやすくするために「牛」の意味が与えられました。「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。

参照：年賀状印刷会社を徹底比較！2021 年らしいのいいもの研究所

また、2021年は干支でいう「辛丑（かのとうし）」の年です。「辛」は「草木が枯れ、新しくなろうとしている状態」、「丑」は「種から芽が出ようとする状態」という意味を持っています。辛丑は変化が生まれる状態、新たな生命がきざし始める状態なので、2021年は、まさに全く新しいことにチャレンジする転換期に適した年ともいえるでしょう。

戦略と広報力でいつも驚かされる近畿大学の今年初めの広告に、大きく書かれていたのが、

**近大DX「え、近大まだデカなるん？」**でした。 R3.1.3 読売新聞

（「DX」は、スウェーデンの大学教授エリック・ストルターマン氏が2004年に提唱した概念で、「デジタルトランスフォーメーション」のことをいいます。経済産業省では、“企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること”と定義しています。約すると、ITを活用してビジネスに関わるすべてをより良くし、国内外で優位を築いて事業を続けられるようにしよう、ということです。DXは単なるデジタル化ではなく、企業や社会をデジタル技術で変革する取り組みをいいます。）

消費者の行動変革の例を挙げると、今では、個人の楽曲がネット上で売買されたり、SNSやサブスクリプションサービス(定額)利用も当たり前になったりと、社会全体で音楽のやり取りのデジタル化(DX)が進んでいます。そして、テクノロジーの進化にともなうDXはあらゆる分野で進んでいきます。

参照：FUJITSU JOURNAL/ 2019年9月26日

つまり「IT化」と「DX」の違いは、前者が業務効率化などを「目的」として、情報化やデジタル化を進めるものだったのに対し、後者はそれを「手段」として変革を進める、ということです。「行動」「知識・経験」「モノ」がDXでデジタルに置き換わることが日常で進んでいるのが現状で、我々もいつのまにか利用しているものがたくさんあります。

思わず見入ってしまった広告内容には、【近大DXは、単なるIT化ではなく、デジタルを駆使し、学生や世の中に新しい教育モデルや価値観を提供する。好きなところで好きなだけ24時間学び放題になる授業のオンデマンド化。充実した「ワーク・ライフ・バランス」ならぬ「スタディ・ライフ・バラ

ンス」を実現し、オンラインとオフラインのええとこ取りを目指す。】とありました。

前にも触れましたが、学校においても情報に関する環境が整えられ、大きな変革を迎えようとしています。大学のように急激な変革とはいきませんが、しっかりと見極めて「オンラインとオフラインのええとこ取り」は真似すべきところだと考えます。学校でしか味わえないこと、学べないことを土台に、子ども達にこれから必要な力をつけるために、何を変え、何を守り抜くか・・・物事を見極める英知と実行する勇気がいま問われているといえます。

何はともあれ、健康と安全を第一に、いろいろなことにアンテナを高くありたいと気持ち新たにしています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

# 1月行事予定

|        |                  |                                     |                                 |
|--------|------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1日(金)  | 元日               | 17日(日)                              |                                 |
| 2日(土)  |                  | 18日(月)                              | 放課後学習(1・2・5・6年)                 |
| 3日(日)  |                  | 19日(火)                              |                                 |
| 4日(月)  | 諸費振替日            | 20日(水)                              | 委員会 書き初め展                       |
| 5日(火)  |                  | 21日(木)                              | 4～6年(6校時) ↓ 放課後学習(3・4年) 代表委員会 ● |
| 6日(水)  |                  | 22日(金)                              |                                 |
| 7日(木)  |                  | 23日(土)                              |                                 |
| 8日(金)  | 始業式・大掃除          | 24日(日)                              |                                 |
| 9日(土)  |                  | 25日(月)                              | 放課後学習(1・2・5・6年) 人権週間            |
| 10日(日) |                  | 26日(火)                              |                                 |
| 11日(月) | 成人の日             | 27日(水)                              | キャリア教育(5年/午後)                   |
| 12日(火) | 短縮授業             | 28日(木)                              | 放課後学習(3・4年) ●                   |
| 13日(水) | 短縮授業 諸費振替日       | 29日(金)                              |                                 |
| 14日(木) | 給食開始 4～6年(6校時) ● | 30日(土)                              |                                 |
| 15日(金) | 避難訓練(5校時)        | 31日(日)                              |                                 |
| 16日(土) |                  | 2月予定<br>5日(金)新1年生入学説明会 9日(火)児童会役員選挙 |                                 |

## 3学期生活目標

感謝の気持ちをもって、心豊かに過ごそう

## 1月のめあて

「ありがとう。」が言える子になろう



お知らせ



「1. 17は忘れない」防災避難訓練について 1月15日(金) 5校時

今回の1. 17避難訓練は、「阪神・淡路大震災」での教訓を受け、「今後起きるであろう、災害時の行動様式を児童、学校職員が認識し、冷静かつ適切に対応できるようにすること。」を目的に取り組みます。地震発生での第1次避難から、地震後の火災発生を想定した火災訓練としての第2次避難までを行います。安全な避難を最優先にして取り組みます。